

市の人口と予算 (1月1日現在)	
人口・世帯 ()内は前月比/前年同月比	
合計	= 167,601人 (+208 / +1,105)
男	= 83,379人 (+ 84 / + 381)
女	= 84,222人 (+124 / + 724)
世帯	= 67,411世帯 (+ 74 / +1,035)
予算	
一般会計	= 472億7,124万1千円
特別・企業会計	= 378億6,167万2千円

太陽光発電で 地球に優しいまちへ

低炭素都市を目指して



休耕地を利用した市内初の大規模太陽光発電システム(写真は一部)。農地転用をして設置したのは県内でも初めてです。今回設置されたシステムの合計発電量は、年間およそ30万4千kWhで約90軒分のご家庭の年間電気使用量に相当します。



● 土地の有効活用と電力不足にも貢献 ●

システムを設置したお二人：
 渋谷良一さん(写真左、下花輪)、渋谷護さん(写真右、下花輪)

農地の休耕地を有効活用しようと太陽光発電システムの設置を決めました。原発事故から電力不足も懸念され、さらにクリーンエネルギーのため地球温暖化対策にも貢献できます。計算すると下花輪の全家庭(73軒)で使用する電力を上回る発電ができること聞いて驚きました。

次世代により良い環境を残す。そのための一つに、地球に優しい低炭素なまちづくりがあげられます。流山市では「低炭素都市ながれやま」の実現に向け、地球温暖化対策実行計画「ストップ温暖化!ながれやま2020(ここにこ)プラン」に基づき、さまざまな取り組みを行っています。

今号では、低炭素なまちづくりに欠かせない、太陽光発電による再生可能エネルギーについて取り上げます。

太陽光発電は、屋根などにパネル型の太陽電池を設置し、太陽光のエネルギーを電力に変え利用する発電方法です。自宅や事務所などで電力を供給できるとともに、二酸化炭素の排出量を削減できます。国や市からの助成制度もありますので、この機会に太陽光発電システムの導入をご検討ください。

☎環境政策課 7150-6083

我が家にも太陽光発電、余った電気は売電を!

国・市の補助金を受けて実質費用負担は82万5千円(2.85kWパック)

流山市太陽エネルギー活用センターでは、一戸建て住宅所有者で太陽光発電システムの導入を希望する方を、下記の要件で募集しています。

同センターは昨年4月、地元企業がそれぞれの技術を生かし、市内における太陽エネルギーの普及・促進を図ることを目的とし設立されたものです。

【募集数】
 第一次募集30戸(1月21日までに要申し込み)
 ※H24・25年度で100戸募集する予定です。
 ※申し込み方法など、詳細は問い合わせを。

【主な要件】

- 建物が流山市内に登記されていること。
- 自己居住用住宅であり、2階建て以下であること。
- 建物に隣接して4m以上の道路が整備されているなど、太陽光パネル設置に係る障害物がないこと。
- 太陽光発電設備設置に係る現地調査時において、屋根裏など建物内の調査に立ち会いができること。

【標準パック例】
 国・市の補助金交付を受けた実質負担額

【2.85kWパック】 82万5千円から(税込み)
【3.30kWパック】 92万8千円から(税込み)

※設置するパネル容量や家屋(屋根)などの状況により金額は変わります。
 ※国・市補助金の申請手続きは、同センターがお手伝いします。

【取り扱いパネルメーカー】
 京セラ、シャープ、ソーラーフロンティア、ダイキン、東芝、ノーリツ、パナソニック、三菱、LIXIL

設置工事業者を募集

同センターでは、事業実施に当たり市内の設置工事業者を募集しています。詳細は、お問い合わせください。



発電状況を示すモニターパネル。CO₂削減量なども一目で分かり節電意識にもつながります。

☎流山市太陽エネルギー活用センター(流山商工会議所内) ☎7158-6111
 流山商工会議所ホームページ <http://www.nagareyama.or.jp/>

太陽光発電設備設置に奨励金

市内事業者から購入・設置した方が対象

市では、住宅用太陽光発電の設置支援として、太陽光発電設備を設置した方に奨励金を交付しています。

【対象者】
 ① 太陽光発電設備を設置し、支払いをしていること(設置後で、費用を支払った日から6カ月以内に申請が必要)

【奨励金額】
 ① 1キロワット当たり3万円(上限額12万円)
 ② 受け付けは申請順で行い、予算の範囲内で交付。年度途中であっても申請額が予算額に達した時点で締め切り

【対象設備】
 ① 設備はすべて未使用のもので、電力会社と電力需給契約がある太陽光発電設備

☎環境政策課 7150-6083
 ☎1472

家計にも優しい制度 余剰電力を固定価格で買い取り

平成24年7月1日から「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」が始まりました。この制度は太陽光や風力・水力などの自然の力を利用したエネルギーの普及・拡大を目指すものです。太陽光発電は、10kW未満の住宅用であれば、10年間にわたり余剰電力を42円/kWhで電力会社が買い取ります(平成25年度の買い取り価格は未定)。

市民総合体育館 建て替え Q&A



新体育館完成イメージ図

市民総合体育館は、現総合運動公園内に建て替えし、平成27年11月にオープンする予定です。多くの市民の方々にご意見をいただくため、昨年、市内4カ所でタウンミーティングを開催しました。今号では、タウンミーティングなど、これまで皆さんから寄せられた主な質問にお答えします。

☎生涯学習課 ☎7150-6106 / みどりの課 ☎7150-6092 ID 9809



Q 体育館の建て替え場所はなぜ陸上競技場なのですか？

公園施設の体育館の建て替えに当たり、新しい体育館の工事を進めながら、現在の体育館を継続利用できるように陸上競技場を建設地としました。駅からも近く市民の皆さんが利用しやすいことから市総合運動公園内での建て替えとし、公園内で最も樹木の少ない場所を選定することで、緑の減少を最小に抑えることも考慮しました。

現在の陸上競技場は、水はけが悪く、面積などの不足から公式競技記録が認定されないなどの理由により、大会の会場としては使用せず、小・中学校の陸上競技大会なども県立柏の葉総合競技場を利用しています。土・日曜にはサッカーの練習などに使用されていますが、スポーツフィールドの拡充や増設を検討します。



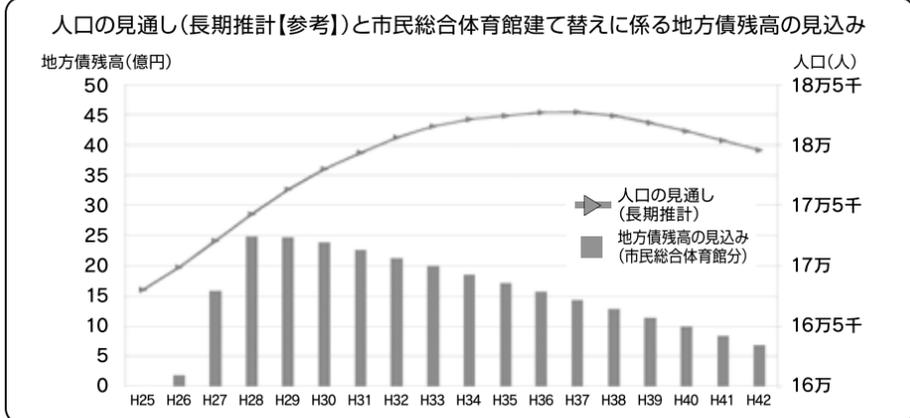
Q いまの体育館を耐震補強工事すればよいのではないですか？

現在の体育館は、昭和51年に人口約8万4千人の時に建設されたもので、現在の人口は約2倍の約16万7千人となり、さらに健康志向の増加からスポーツ愛好者も増え狭隘化が問題となっています。予約の希望者は、平均で4倍、多い時間帯では20倍を超える競争率です。稼働率も、9時から21時まで、1時間単位の貸し出しで93パーセント、土・日曜は98パーセントで、年間約12万人の方々にご利用いただいています。大きな大会が行われるとロビーや階段に人があふれているという現状や、空調設備が完備されていないため体調を崩される方もいらっしゃる状況などから建て替えることにしました。現在の体育館を耐震補強工事する場合、工事中は利用できません。いまでさえ、「予約がとれない」、「公式の試合ができない」、「大きな大会を招請できない」などの声が多数寄せられている状況の中で、現在の体育館を長期間、使用禁止にすることは避けたいと考えました。



Q 建て替えの費用は、子どもたちに借金を残すことになりませんか？

新しい体育館の建設費や現在の体育館の解体費などを含め約45億3千万を予定しています。国庫補助金をはじめ地方債(市の借金)を財源に考えています。地方債は、法の範囲で発行するもので、学校や体育館など長い期間使う施設整備は、現在、流山に住んでいる市民の方々だけで負担するのではなく、将来、流山市民となるの方々にも負担をお願いするものです。



	事業費	地方債発行額
市民総合体育館建て替え	45.3億円	24.8億円

※人口は各年4月1日現在、地方債残高は各年度3月25日現在
 ※平成24年10月時点における見込みのため、今後変更となる場合があります。

市の人口の見通し(長期推計【参考】)では、平成37年にピークに達し、その後緩やかな減少に転ずると予想されています。市民総合体育館は、人口増加の続く本市にふさわしい規模での建て替えが急がれており、子育て世代の人口増加傾向が続くこの時期に建て替えを行わなければならないと考えています。



Q 避難所としての設備は整備されるのですか？

マグニチュード7程度の首都直下地震が、今後30年以内に70パーセント程度の確率で発生するといわれています。避難所となる市内小・中学校や公民館などは、すでに耐震補強工事が完了しています。市民総合体育館については、耐震強度の不足や市民のニーズを考慮し、市民の方々の安全確保のため建て替えを選択しました。新体育館は、3日分の非常用自家発電設備や受水槽、防災備蓄倉庫を設け、大規模災害時には市内最大の避難所として機能します。



Q 体育館の建て替えをなぜUR(独立行政法人都市再生機構)に設計委託しているのですか？

都市公園施設となる体育館の建て替えについては、昨年度は基本設計を、今年度は実施設計をURに委託しています。URは、都市再生機構法の中で、市町村の要請に基づき市町村に代わって公園事業を代行・支援する役割を担っており、全国で252カ所の公園と86棟の体育館を整備するなど、多くの実績を持っています。委託することによって、市の技師職員を増員しなくて済むことから設計委託しました。

家屋調査の実施と固定資産税の減額申告 優良住宅の減額申告は今月31日まで

平成24年中に新築・増築した家屋について、家屋調査を実施しています。固定資産税の基礎となる家屋の評価額を算出するため、家屋の構造や各部分の使用資材・仕上げ・設備などを職員(固定資産評価補助員)が伺い調べます。調査の際は、ご協力をお願いします。また、家屋を取り壊した場合は「家屋滅失届」の提出が必要となりますので、ご連絡ください。

耐震改修、バリアフリー改修、省エネ改修工事を行った住宅で一定の要件を満たす場合は、固定資産税が減額されます。いずれも工事完了後3カ月以内に申告が必要となりますのでご注意ください。

長期優良住宅の認定を受けて新築した住宅で、「認定長期優良住宅に係る固定資産税減額申告」をしていない家屋所有者は、1月31日までに申告してください。

なお、詳細については市ホームページをご覧ください。か、資産税課までお問い合わせください。

☎資産税課 ☎7150-6074 ID 7704

償却資産の申告を受け付け中

提出期限は今月31日まで

商店や工場などの事業を営む個人や法人を対象に、平成25年度の償却資産の申告を受け付けています。提出期限は、1月31日です。この申告は、固定資産税の課税の基礎となるもので、毎年1月1日現在の事業用資産(構築物や機械、工具、備品など)の所有状況の申告をお願いします。

なお、対象者には、昨年12月に申告書を郵送しましたが、届いていない場合や不明な点がある場合は、資産税課までお問い合わせください。

☎資産税課 ☎7150-6074 ID 663

情報公開・個人情報保護審査会委員を募集します

市では、情報公開・個人情報保護審査会委員を募集します。同審査会では、流山市情報公開・個人情報保護審査会条例に基づき、本市の情報公開制度や個人情報保護制度に関する重要な事項などを調査・審議し、市長などに意見を述べます(今回募集する委員の役割としては、不服申し立てに関する審議は対象外です)。

▷**応募資格**=市内在住(住民票のある方)、在学、在勤の20歳以上の方 ※平成25年4月1日現在

▷**募集人数**=2人

▷**任期**=平成25年4月1日~平成27年3月31日

▷**報酬**=日額7,200円

▷**応募方法**=「情報公開と流山市における市民参加」について800字程度にまとめ、市ホームページからダウンロードまたは市役所情報公開コーナー、各出張所にある応募申込書に写真を貼付し、必要事項を明記の上、1月25日(必着)までに☎270-0192流山市役所総務課へ郵送または持参

※応募申込書は返却しません。在勤・在学の方は、その証明書の添付が必要です。詳細はお問い合わせください。

▷**選考方法**=書類審査の上、面接
 ☎総務課 ☎7150-6067 ID 14473

講座・講演

**★姉妹都市信濃町交流事業
新そばを使ったそば打ち講習会**

市と市観光協会では、信濃町からそば打ち名人をお招きし、本場信州信濃町のそば打ち体験講習会を開催します。
 日 1月25日(金) 13時30分～16時30分 所 文化会館 定 25人(先着順) 費 1,500円 持 エプロン、手拭い、こね鉢または大きめのボール 申 電話 問 商工課 ☎ 7150-6085

**★森の健康講座「糖尿病の話」
～国民病からいかに身を守るか～**

日 1月26日(土) 13時30分～15時 所 森の図書館 講 日本糖尿病学会、柏の葉北総病院医師・奥脇治郎さん 定 60人 費 無料 申 不要 問 森の図書館 ☎ 7152-3200

★議員研修会を開催します

流山市議会では、「市民に開かれた議会」を目指してこれまでさまざまな議会改革に取り組んできました。この一環として、「議員研修会」を開催します。どなたでもご参加いただけます。
 日 1月30日(水) 第1部: 10時～12時、第2部: 13時30分～15時 所 市役所第1庁舎4階委員会室 内 講 第1部: 「高齢者支援と孤独死対策について」/ 淑徳大学社会福祉学科准教授・結城康博さん、第2部: 「自分の可能性を求めて」/ パラリンピック競泳金メダリスト・成田真由美さん 定 各回20人(先着順) 費 無料 申 電話 問 議会事務局 ☎ 7150-6099

★東部公民館折り紙教室 和紙で作る雛人形

日 1月30日(水) 13時30分～16時 所 東部公民館 定 15人(先着順) 費 200円 持 のり、ものさし、はさみ 申 電話または直接 問 東部公民館 ☎ 7144-2988

★心肺蘇生法・救急法について学びませんか?

赤十字奉仕団による救急法講習「1日赤十字」を開催します。
 日 2月6日(水) 10時～12時30分 所 ほっとプラザ下花輪 対 市内在住・在勤の方 定 30人(先着順) 費 100円(保険代) 申 八ガキに「一日赤十字参加希望」、住所、氏名、電話番号を明記の上、☎ 270-0192 流山市役所社会福祉課へ 問 社会福祉課 ☎ 7150-6079

★元新聞記者による「広報紙の記事づくり体験講座～取材から執筆まで」(全5回)

元毎日新聞記者で雑誌編集にも長く携わった江戸川大学名誉教授の青野もつ緒さんを講師に迎え、読まれる記事づくりのための取材の基本からノウハウまで、文章表現のポイントを学びます。
 日 2月8日・15日、3月1日・15日・22日の金曜、13時30分～15時30分 所 文化会館 定 20人(先着順) 費 無料 申 電話 問 文化会館 ☎ 7158-3462 ID 14479

★中央地区家庭教育講座「食卓から見えるもの～気づいたときがはじまりのとき～」

日 2月9日(土) 10時～12時 所 文化会館

館 講 心療内科高田馬場クリニック管理栄養士・竹森美佐子さん 費 無料 申 1月30日までに電話(流山・流山北小学校、南部中学校の保護者は各学校へ) ※1歳半から未就学児の一時保育あり(先着10人、2月2日までに要予約) 問 文化会館 ☎ 7158-3462 ID 14480

★ビーズ・ジュエリー講座Ⅲ

専用パテ(粘土)を使って、きらきらネックレスを作ります(初心者歓迎)。
 日 2月12日(火) 10時～12時 所 身体障害者福祉センター(東深井福祉会館) 対 市内在住・在勤・在学の方 定 15人(先着順) 費 材料代2,000円(障害をおもちの方は500円) 申 2月5日までに電話、ファクスまたは直接 問 身体障害者福祉センター ☎ 7155-3638 FAX 7153-3437

**がん患者・家族サポートプログラム
ヨガ講座(がん患者・家族総合支援センター主催)**

日 2月7日(木) 14時～15時 所 がん患者・家族総合支援センター(柏市) 講 柏市柏北部地域包括支援センター所長、ヨガインストラクター・山本敏子さん 対 がん患者とその家族の方 定 30人(先着順) 費 無料 申 2月4日までに電話 問 同センター ☎ 7137-0800

知的障害者移動介護従業者養成研修(全3回)(NPO自立サポートネット流山主催)

日 講義: 2月19日(火)・25日(月)、実習: 2月20日(水)・21日(木)・22日(金)のうち1日 所 身体障害者福祉センター(東深井福祉会館) 対 ①市内在住または市内の訪問介護事業所に勤務しているホームヘルパー研修1～3級修了者か介護福祉士資格を有する方②市内在住で将来ホームヘルパー研修を終了して知的障害者の介護に従事することを希望する方③市内の保育所、幼稚園に勤務されている保育士または幼稚園教諭資格の有資格者で、知的障害児(者)の介護に従事または希望する方 定 20人(先着順) 費 受講料3,000円(別途テキスト代2,730円) 申 1月31日までに電話 問 同事務局 ☎ 7154-7353

展示

★第66回東葛飾地方中学校駅伝競走大会写真展

昨年10月20日に開催された大会の写真展を、今年も毎日新聞社の協力を得て開催します。
 日 2月5日(火)～14日(木) 9時～17時(5日は12時から、14日は14時まで) 所 生涯学習センター 問 指導課 ☎ 7150-6105

会議 どなたでもお聴きいただけます

★行財政改革審議会

日 1月21日(月) 14時から 所 市役所 内 「各部局長の仕事と目標」について 問 行政改革推進課 ☎ 7150-6078 ID 9403

江戸川左岸圏域流域懇談会

川づくりについて地域の意見を反映するため懇談会を開催します。
 日 1月24日(木) 14時～16時 所 行徳文化センターI & I (市川市)

問 千葉県葛南土木事務所調整課 ☎ 047-433-6745

募集

流山市書道・硬筆展作品募集

4月に生涯学習センターで開催される作品展の出品作品を募集します。
 ▷募集区分(出品料:毛筆/硬筆)＝一般(2,500円/1,500円)、高校(1,000円/700円)、幼年・小・中学生(1,000円/700円) ※別途事務費600円 申 2月10日までに、流山市書人協会・佐々(☎ 7136-2585)、坂本(☎ 7154-3204)へ 問 生涯学習課 ☎ 7150-6106

その他

★再生自転車の販売

▷応募期間＝1月15日～29日 9時～17時 対 市内在住・在勤・在学の方 ※1年以内に当選した世帯を除く 申 リサイクルプラザ・プラザ館の展示コーナーに展示の自転車の中から希望する自転車(1世帯1点)を選び、申し込み用紙に必要事項を明記の上、プラザ館へ直接 ※多数抽選 ▷引き渡し＝現金と引き換え。運搬などは各自で 問 リサイクル推進課 ☎ 7157-8250 ID 1411

★文書配布について

1月16日付けで、自治会などを通じて文書を配布します。各出張所および公民館でも閲覧できます。
【回覧文書】 犯罪発生情報、市民音楽祭チラシ 問 コミュニティ課 ☎ 7150-6076

★子育てママのためのリフレッシュサロン～快適スッキリ 子育てライフ～

ピラティスやエアロビなど脂肪燃焼エクササイズを行うサロンです。
 日 1月18日(金)、2月1日(金)・21日(木)、3月8日(金) 10時30分～11時30分 所 南流山センター 対 子育てママ ※お子さんと一緒に参加も可 定 50人(先着順) 費 各回500円 持 タオル、飲み物、運動シューズ 申 電話または直接 問 南流山センター ☎ 7159-4511

★図書館の雑誌を差し上げます

日 1月19日(土) 10時～14時 ※なくなり次第終了 所 中央図書館車庫 対 市民 ▷配布＝1人3冊まで(先着順) ▷配布雑誌＝平成22年度に発行されたもの約130種(中央公論、サライ、旅など) ※詳細は問い合わせを。 問 中央図書館 ☎ 7159-4646

★一茶双樹記念館・杜のアトリエ黎明のイベント

①お抹茶を楽しむ会
 日 1月27日(日) 10時～15時 所 一茶双樹記念館 定 40人(先着順) 費 500円(お茶とお菓子付き)
 ②絵手紙講座(全10回程度)
 日本絵手紙協会公認講師の青木喜久子さんによる絵手紙講座です。途中参加もできます。
 日 2月2日、3月9日、4月13日、5月11日、6月8日の土曜、10時～12時 ※7月以降は後日ご案内 所 杜のアトリエ黎明 定 20人(先着順) 費 入会金1,000円、参加費各回1,500円(お茶とお菓子付き) 持 線引筆、顔彩など

※詳細は申し込み時に案内
【①と②の共通事項】
 申 一茶双樹記念館へ電話、ファクスまたはメール ※①は当日申し込み可
 ③**大人のための水彩画教室作品展**
 水彩画教室受講生の作品展です。
 日 1月16日(水)～20日(日) 9時～17時 所 杜のアトリエ黎明 費 無料 申 不要
 ④**第3回流鉄展**
 首都圏に残ったユニークなミニ鉄道「流鉄」の歩みを、歴史資料や懐かしい写真、鉄道車両模型(HOゲージ)などの展示を通してご覧いただけます。
 日 2月8日(金)～17日(日) 9時～17時 所 杜のアトリエ黎明 費 無料 申 不要 問 一茶双樹記念館 ☎・FAX 7150-5750 問 info@issasaju-leimei.com

★マンション管理士によるセミナーと個別相談会

「管理組合における防災、耐震への取り組み」についてのセミナーと「個別相談会」を開催します。
 なお、相談会は期日までに予約のない場合は開催されません。
 日 1月27日(日) 13時～17時 ※14時50分から「個別相談会」 所 初石公民館 対 マンション管理組合など 定 5組 費 無料 申 1月25日までに電話 問 建築住宅課 ☎ 7150-6088 ID 2044

★幼児の子育て相談会 話してみませんか? 子育ての悩み

相談員と一緒に、ミーティング形式で話し合います。ミニ講話「幼児期に家庭では、・・・」も行います。
 日 2月8日(金) 10時～12時 所 北部公民館 対 幼児(4歳～5歳児)の保護者 申 2月5日までに電話 問 幼児教育支援センター ☎ 7154-8081

★太巻き寿司教室 流山のおいしいお米でお寿司をつくろう!

日 2月13日(水) 10時～14時 所 ①北部公民館 ②初石公民館 ③東部公民館 対 市内在住の方 定 各会場16人(多数抽選) 費 500円 申 往復八ガキ(1枚につき1人)に「太巻き寿司教室参加希望」、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号(昼間連絡のつくもの)、受講会場の第1希望・第2希望、返信用に宛名を明記の上、1月18日(必着)までに☎ 270-0192 流山市役所農政課へ ※一時保育(1歳～未就学児)を希望の方は、「一時保育希望」、人数、お子さんの氏名、年齢(月齢)、性別も明記 問 農政課 ☎ 7150-6086 ID 14476

流山のいちごの収穫が始まりました

市内いちご農園では、いちごの収穫と直売が始まりました。地方発送も行っていきますので、地元流山産のいちごをご賞味ください。希望数量を確実に求めいただくためには、前日までに電話などで各農園に直接ご相談ください。各農園とも摘み取りは行っていません。

農園名(所在地)	電話番号
藍川園芸(前ヶ崎)	7145-4630
石井農園(西深井)	7152-0776
増田農園(名都借)	090-4752-8855

問 農政課 ☎ 7150-6086 ID 14474
 ★は市または指定管理者などの主催のもの

おとなりさん

Vol.64

伝統芸能を引き継ぐ
赤城保存会の
若きホープ

大場貴央さん
(加六丁目在住、37歳)



流山本町界隈の神社のお祭りには欠かせないお囃子を奏でる赤城保存会(玉ノ井勇夫会長、会員10人)。昭和48年に結成され、お囃子や神楽、獅子舞など流山に残る伝統芸能を必死でつないできたが、後継者がなかなか見つからず存続も危ぶまれていた。そんな中、4年前に30代の若き継ぎ手として入会したのが大場貴央さんだ。

祭囃子の担い手だから根っからの地元の方かと思えば、大場さんは山形市出身とのこと。平成17年、結婚と同時に奥さんの実家のある流山に居を構えた。子どものころから祭り好きだったが、お囃子をする会などは、きっと敷居が高いのだらうと思っていたという。加岸の大杉神社の祭礼で受付を行っていたとき、大場さんが音楽大学出身ということを知った地元の自治会長から声を掛けられ、保存会を紹介されたのが入会のきっかけだ。

赤城保存会で伝承しているのは、お囃子など14曲と神楽が3番、それに獅子舞。お囃子は各地で受け継がれているが、旋律や笛の指使いに微妙な違いがあり流山の笛と神田囃子の太鼓では同じ曲でも合わないという。それだからこそ、流山独自のお囃子を何とか後世にまで引き継いでいきたいというのが保存会の願いだ。

楽譜があるわけでもなく、ビデオで見て覚えるのでもない。あくまでも師匠から弟子に芸を仕込むがごとく、というのが昔気質の赤城保存会の教え方だ。酒も付き合い人情で語る。「趣味のサークルや習い事教室とはちょっと違うんです。芸を教わるにはその人に成り代わるくらいの気持ちが必要」と大場さん。

一昨年、結成当初から会長を務めた加藤和夫さんが亡くなり、現在、結成時から残るのは長老と呼ばれる3人。加藤さんの遺志を継いで娘さんとお孫さん3人が入会した。「お囃子は、祭りの時には喧騒の中心になるんです。群衆の中で山車の上から祭りを囃す。堪えられない楽しさです。その魅力を伝えて、も



昨年に加岸大杉神社の祭礼にて

っと若い力で保存会を盛り上げたい」と熱く語る大場さんの目には、伝統を受け継ぐ者の使命感と意気込みを感じた。

1月20日の緒ヶ崎雷神社のおびしゃでは、神事の後の直会で獅子舞と神楽を披露する。練習は、夏祭りを前にした4月後半から6月前半まで毎週土曜の夜に赤城福祉会館で行うというので興味のある方は、まずは見学を。

約1時間。速いのは、3人で櫓をこいだから。客は10人程だったらしい。小沢勇次郎さん(加)から「早舟は川飛脚とも呼んで荷足舟だった」と私は聞いていた。

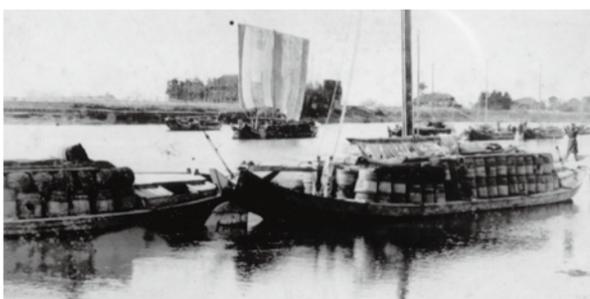
この早舟はいつから、いつまで走っていたのか。書いた物はないし、私も聞いていないが、今の常磐線が走るようになった明治29年から今の流鉄が走り始める大正5年までと推定できる。祖父の清太郎



荷足船

村田中新田生まれ、いつから流山へ転籍したかはつきりしないが、早舟を始めて加に家を持ち、後に父をここに分家させたらしい。

私は加に「早舟というマンションがある」と聞いていたが、姉妹が住み、手打そば「無名庵」のあるマンションは「ヴェルデ流山」で、「仮称早舟マンション新築工事」と設計図には残っているだけ。明治の匂いのする早舟は、近代的なマンション名にはなりえなかったようである。



樽を積んだ高瀬船(明治29年 流山根郷) 秋元由美子さん所蔵

パパの子育てを応援!
2月2日にフォーラムを開催

流山子育てプロジェクトとNPO法人パートナーシップながれやまの共催で、子育てフォーラムin流山II「笑っているパパがみんな大好き!」が開催されます。当日は、ファザーリング・ジャパンちば代表・村上誠さんの基調講演や「パパとママの笑顔で子は育つ!」をテーマとしたパネルディスカッションも行われます。子育ては期間限定です。父親であることをもっと楽しみましょう。

■2月2日(土)13時30分~15時30分 生涯学習センター 子育て中の父母など子育てに興味のある方 定員90人(先着順) 費200円(資料代) ■「子育てフォーラム参加希望」、住所、氏名、電話番号を明記の上、ファクスまたはメール(partnership@nashimin.org)で、NPO法人パートナーシップながれやま事務局へ※1歳6カ月~未就学児の一時保育あり(先着20人、要予約) ■同事務局・山口 ☎・FAX 7174-1493

子育てを楽しむ家族の週間



講師の村上誠さん

しみの伝言板

イベント

- 第32回新春百人一首かるた大会(流山かるた会主催)=1月19日(土)9時30分~16時、初石公民館。参加費200円 高橋 ☎ 7154-6908
- ココナツ・リース・ニューイヤーパーティー=1月19日(土)13時~16時30分、ほっとプラザ下花輪。入場料無料 照井 ☎ 090-3576-4119
- アンチエイジングエクササイズ体験会(T&T主催)=1月19日(土)26日(土)19時15分~20時15分、名都借福祉会館。参加費500円、要申し込み 飯島 ☎ 7143-5771
- パルナスフルートアンサンブル第8回定期演奏会=1月20日(日)14時~16時、アミューズ柏(柏市)。入場料無料 須田 ☎ 7154-7413
- NPO法人C&Cクラブのカルチャー体験=①中国語(初級)1月27日(日)2月10日(日)10時~11時30分、C&Cクラブ事務所(美田)②しの笛(初級・中級)1月20日(日)2月3日(日)初級:9時30分~10時30分、中級:10時30分~12時、初石公民館③パソコン教室1月23日(水)2月13日(水)13時~15時、北部公民館。いずれも初回無料 上矢 ☎ 7154-1325
- 私のコレクション展=1月24日(木)~

- 2月10日(日)10時~16時※月~水曜は休み、ギャラリー平左衛門(東深井)。入場料無料 山田 ☎ 7154-3349
- 40歳からの女性ソフトリズム体操無料体験会(コスモス主催)=1月24日(木)10時~11時30分、南流山センター 庄子 ☎ 090-4022-0624
- ラウンドダンス無料体験説明会(流山RDC主催)=1月31日(木)9時30分~11時30分、生涯学習センター 小泉 ☎ 7155-1607
- 7th3Bカーニバル IN 流山(日本3B体操協会千葉県支部東葛2グループ・流山グループ主催、市教委後援)=2月3日(日)13時30分~16時、文化会館。入場料無料 佐々木 ☎ 7150-0956
- 第1回「ニコールクラブ東葛支部写真展」=2月5日(火)~9日(土)10時~17時、かしわ市民美術サロン(柏市)。入場料無料 川上 ☎ 7154-6812
- クラシックギターの楽しみ(フォルマール・ギターオーディション合格者と共に)(楽々クラブ・フォルマールギタリスト主催、市教委後援)=2月10日(日)13時30分~16時、生涯学習センター。参加費500円 砂川 ☎ 7154-7035
- 第8回チャリティダンスの会(流山シニアライオンズクラブ主催)=2月16日(土)13時30分~16時30分、初石公民館。参加費1,500円 山口 ☎ 7159-6135

聞き書き 流山本町界隈 22

青木更吉

加六丁目の鈴木静子さん(74歳)、良子さん(65歳)姉妹は早舟という屋号の家に生まれた。早舟というのは祖父の清太郎さんが早舟を経営していたからである。静子さんが子供の頃に吉川のお寺へ行った時「早舟のお孫さんか」と聞かれた。良子さんも母とガラガラの所の市場へ行った時、早舟という名で出荷していたのを記憶している。「早舟ではなく早舟だった」と言う。

早舟について書かれたものは、『流山を愛す』の松本翠影さん(光明院に句碑がある)の文章だけである。それによると、早舟は加村河岸と松戸を往復する定期船だった。毎朝夏でも冬でも7時、鴻野屋橋(今の流山福祉会館の西)の先から出て丹後の渡し(旧流山橋)でも客を乗せて松戸へ向かった。「その速いこと速いこと、船先を振ってスイスイ」と進み、松戸まで